



平成21年2月期 第3四半期財務・業績の概況（非連結）

平成20年12月22日

上場会社名 株式会社セキド 上場取引所 東証第二部
 コード番号 9878 URL <http://www.sekido.com/ir/index.html>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関戸 正実
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 弓削 英昭 TEL (042) 643-6835
 総務部長

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年2月期第3四半期の業績（平成20年2月21日～平成20年11月20日）

(1) 経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年2月期第3四半期	15,582	△10.4	△307	—	△317	—	△342	—
20年2月期第3四半期	17,387	△19.6	△29	—	△68	—	△63	—
20年2月期	24,918	△20.0	313	—	271	—	203	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
21年2月期第3四半期	△24	17	—	—
20年2月期第3四半期	△4	45	—	—
20年2月期	14	33	13	76

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
21年2月期第3四半期	11,455	—	5,149	—	44.9	—	362	87
20年2月期第3四半期	12,526	—	5,264	—	42.0	—	370	81
20年2月期	12,117	—	5,520	—	45.5	—	388	88

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
21年2月期第3四半期	△1,258	—	△176	—	△107	—	540	—
20年2月期第3四半期	210	—	△89	—	△891	—	973	—
20年2月期	1,545	—	30	—	△1,236	—	2,083	—

2. 平成21年2月期の業績予想（平成20年2月21日～平成21年2月20日）【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	23,300	△6.5	55	△82.5	45	△83.4	10	△95.1	0	71

3. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期 (平成20年 2 月 21 日～平成20年11月20日) におけるわが国の経済は、米国発の金融危機の影響による経済環境の悪化が急速に進む中、円高の影響が輸出産業を直撃したことから企業業績に急ブレーキがかかり、雇用環境の悪化や個人所得の低下を招き、急激な景気後退ムードが広がってまいりました。

当業界におきましても、個人消費が低迷する中、円高還元セールをはじめ大手ブランド直営店や家電量販店の値下げ戦略が打ち出されるなど、需要喚起の動きが活発となっておりますが、景気後退感や雇用環境の悪化による先行き不安から消費者の動きは鈍く、当社を取り巻く環境は厳しさを増しております。

このような状況のもと、当社といたしましては、上半期に引続き既存店の営業力強化を目指し、ファッション事業では L P C (ラブ・プラス・クラブ) カードによる顧客データを活用し、上半期にご入会いただいた新規のお客様や前回のご利用から一定期間足の遠のいていらっしゃるお客様へのセールス・プロモーションなど、効率的な販促策を実施し、売上高については既存店対前年同期比で 5.4% 減 (前年同期は 15.2% 減) まで回復しております。また、利益面においても、重点商品の販売キャンペーンを実施するなど高付加価値商品の販売強化を推進し利益の確保に努めました。

一方、家電事業においては、売上高は前事業年度に閉鎖した 1 店舗の影響もあって減少したものの、オール電化関連商品や太陽光発電システムへの取組み、地域・顧客密着戦略による競合店との差別化策などが功を奏し、利益面では売上総利益率を対前年同期比で 0.5 ポイント向上させるなど、安定した収益の確保ができております。

店舗戦略については、新規出店を積極的に行なっていく方針ではありますが、現状の厳しい市場環境も踏まえ、当面は慎重に検討してまいります。

これらの結果、売上高は、前事業年度に閉鎖した 3 店舗の減収の影響もあり 15,582 百万円 (前年同期比△10.4%) となりました。利益面においては、売上総利益率は前年より若干上昇したものの、売上高減少の影響により売上総利益は 410 百万円の減少となりました。また、既存店増収に向け販促費用を増加させた他は販管費を抑え込み、前年同期比で 132 百万円削減しましたが、売上総利益の減少分をカバーするには至らず、営業損失は 307 百万円 (前年同期は 29 百万円の営業損失)、経常損失は 317 百万円 (前年同期は 68 百万円の経常損失)、四半期純損失は 342 百万円 (前年同期は 63 百万円の四半期純損失) となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期末の総資産は 11,455 百万円となり、前事業年度末に比べ 661 百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が 1,543 百万円減少しましたが、第 4 四半期の需要期に向けた在庫確保のため商品が 804 百万円増加したことによるものであります。

負債合計は 6,306 百万円となり、前事業年度末に比べ 290 百万円減少いたしました。これは主に、長短期借入金の純減少額 52 百万円および流動負債・その他に含まれる未払消費税の減少 134 百万円によるものであります。

純資産合計は 5,149 百万円となり、前事業年度末に比べ 371 百万円減少いたしました。これは主に、四半期純損失 342 百万円の計上によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は 44.9% (前年同期は 42.0%、前事業年度末は 45.5%) となりました。

当第 3 四半期における現金及び現金同等物 (以下「資金」という。) は、前事業年度末に比べ 1,543 百万円減少し、540 百万円となりました。

当第 3 四半期中における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第 3 四半期において営業活動の結果減少した資金は 1,258 百万円 (前年同期は 210 百万円の増加) となりました。

これは主に、たな卸資産の増加 804 百万円および税引前四半期純損失 328 百万円を計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第 3 四半期において投資活動の結果使用した資金は 176 百万円 (前年同期比 96.6% の増加) となりました。これは主に、有形固定資産の取得 185 百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第 3 四半期において財務活動の結果使用した資金は 107 百万円 (前年同期比 87.9% の減少) となりました。これは主に、長短借入金の純減少額 52 百万円および割賦契約の返済 54 百万円によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想については、第 3 四半期の業績は売上高の季節指数が低いいため営業損失の計上となっておりますが、当社の業績は、第 4 四半期のウエートが高く、また、急速な円高進行による仕入コスト圧縮効果が見込めることや人件費効率の向上等による販売管理費削減効果もあり、平成 20 年 10 月 3 日に公表しております中間決算短信 (非連結) の予想数値からの変更はありません。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

- ① たな卸資産については、実地たな卸は行わず帳簿たな卸残高によっております。
- ② その他、影響額の僅少なものについては、一部簡便な方法を採用しております。

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

科目	前年同四半期末 (平成20年2月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成21年2月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成20年2月期末)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	2,123	1,590	△532	△25.1	3,133
売掛金	776	685	△91	△11.7	596
商品	5,559	5,273	△285	△5.1	4,469
その他	551	530	△20	△3.7	564
貸倒引当金	—	△1	△1	—	—
流動資産合計	9,010	8,079	△931	△10.3	8,764
II 固定資産					
(1) 有形固定資産					
建物	457	420	△36	△8.1	428
土地	854	854	—	—	854
その他	124	234	109	88.2	112
有形固定資産合計	1,436	1,509	73	5.1	1,394
(2) 無形固定資産	79	66	△12	△16.3	70
(3) 投資その他の資産					
差入保証金	1,705	1,655	△50	△3.0	1,684
その他	500	351	△148	△29.7	408
貸倒引当金	△205	△205	—	—	△205
投資その他の資産合計	2,000	1,801	△199	△10.0	1,887
固定資産合計	3,516	3,376	△139	△4.0	3,353
資産合計	12,526	11,455	△1,070	△8.5	12,117

科目	前年同四半期末 (平成20年 2 月期 第 3 四半期末)	当四半期末 (平成21年 2 月期 第 3 四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成20年 2 月期末)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)
(負債の部)					
I 流動負債					
支払手形	198	215	17	8.7	346
買掛金	994	648	△346	△34.8	502
短期借入金	4,048	3,773	△275	△6.8	3,757
未払金	519	422	△96	△18.6	466
賞与引当金	198	162	△35	△17.8	159
ポイント費用 引当金	150	157	6	4.1	147
店舗閉鎖損失 引当金	55	—	△55	△100.0	27
その他	178	154	△24	△13.7	288
流動負債合計	6,344	5,533	△810	△12.8	5,696
II 固定負債					
長期借入金	101	—	△101	△100.0	67
退職給付引当 金	304	311	6	2.2	310
繰延税金負債	34	9	△24	△73.0	27
その他	478	452	△25	△5.4	495
固定負債合計	918	772	△145	△15.8	901
負債合計	7,262	6,306	△955	△13.2	6,597
(純資産の部)					
I 株主資本					
資本金	2,979	2,979	—	—	2,979
資本剰余金	4,434	4,434	—	—	4,434
利益剰余金	△2,187	△2,263	△76	—	△1,920
自己株式	△2	△3	△0	—	△2
株主資本合計	5,224	5,147	△77	△1.5	5,490
II 評価・換算差額等	36	△1	△37	△102.9	26
III 新株予約権	2	2	—	—	2
純資産合計	5,264	5,149	△114	△2.2	5,520
負債純資産合計	12,526	11,455	△1,070	△8.5	12,117

(2) (要約) 四半期損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年2月期 第3四半期)	当四半期 (平成21年2月期 第3四半期)	増減		(参考) 前期 (平成20年2月期)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)
I 売上高	17,387	15,582	△1,804	△10.4	24,918
II 売上原価	13,232	11,838	△1,393	△10.5	18,910
売上総利益	4,154	3,743	△410	△9.9	6,007
III 販売費及び一般管理費	4,184	4,051	△132	△3.2	5,694
営業利益	△29	△307	△278	—	313
IV 営業外収益	33	45	12	36.8	48
V 営業外費用	72	55	△16	△23.4	90
経常利益	△68	△317	△249	—	271
VI 特別利益	157	8	△149	△94.7	175
VII 特別損失	128	19	△109	△85.2	212
税引前四半期 (当期) 純利益	△39	△328	△288	—	234
税金費用	23	14	△8	△36.8	31
四半期 (当期) 純利益	△63	△342	△279	—	203

(3) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年2月期 第3四半期)	当四半期 (平成21年2月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成20年2月期)
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期(当期)純利益(△損失)	△39	△328	234
減価償却費	94	87	128
減損損失	17	11	102
賞与引当金の増加額	47	3	8
ポイント費用引当金の増減額	△17	9	△20
店舗閉鎖損失引当金の減少額等	△131	△28	△154
退職給付引当金の増減額	△8	1	△2
固定資産除却売却損	4	4	4
売上債権 (前受金含む) の増減額	34	△86	209
たな卸資産の増減額	313	△804	1,403
仕入債務の増減額	98	△37	△140
その他	△98	△20	△107
小計	314	△1,187	1,667
利息及び配当金の受取額	11	7	13
利息の支払額	△78	△55	△98
法人税等の支払額	△36	△23	△37
営業活動によるキャッシュ・フロー	210	△1,258	1,545
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の増加額	△300	△0	△300
定期預金の減少額	10	—	110
有形固定資産の取得による支出	△115	△185	△121
有形固定資産の売却による収入	272	—	272
無形固定資産の取得による支出	△1	△11	△2
投資有価証券の売却による収入	210	—	210
差入保証金の取得による支出	△276	△2	△277
差入保証金の回収による収入	143	41	172
その他	△32	△17	△32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△89	△176	30

	前年同四半期 (平成20年 2 月期 第 3 四半期)	当四半期 (平成21年 2 月期 第 3 四半期)	(参考) 前期 (平成20年 2 月期)
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純減少額	△50	91	△240
長期借入金 (1 年内含む) の返済による 支出	△780	△144	△914
設備割賦契約の返済による支出	△61	△54	△81
その他	△0	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△891	△107	△1, 236
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△0	0
Ⅴ 現金及び現金同等物の増加額 (又は減少 額)	△771	△1, 543	338
Ⅵ 現金及び現金同等物の期首残高	1, 744	2, 083	1, 744
Ⅶ 現金及び現金同等物の期末残高	973	540	2, 083